



Japanese Association of Homecare for Pressure Ulcers and Wounds

日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会 2016年度 中部・北陸地区 床ずれセミナー

理事長 大浦 武彦(褥瘡・創傷治癒研究所 所長)
全国会長 中村 義徳(天理よろづ相談所病院 在宅世話どりセンター長)
地区会長 深水 秀一(浜松医科大学附属病院 形成外科科長)

テーマ

『 在宅でも施設でも病院でも、 やる・できる・つながる褥瘡創傷ケア 』

< ご挨拶 >

長期臥床の高齢療養者の背中や臀部、腰部そして踵などに床ずれが多発している、といった悲惨な光景を目にすることは、近年、激減しました。ひと頃のように、命を脅かすような床ずれに遭遇することも減りました。しかし一方、小さいけれど、なかなか治らない床ずれも少なくありません。治っては再発し、逆戻りのように悪化する、そうした落胆はどうして起こるのでしょうか。

床ずれに限らず、広く「キズ」のケアで大切なことは、まず「どんなキズなのか」をよく見ることです。「現場の状況を確認し、キズを直接見て、触ってみる(現場主義)」、そして、どんな状況でそのキズが発生し、あるいは悪化し、あるいは治りにくいのか、状況証拠を整理しヒントを得ることです。そのキズの、そもそもの「原因」はなにか、さらに、キズの原因ではないけれど「誘発・悪化・遷延要因」は何であるかを、推測することです。加えて、「原因は最大の誘発・悪化・遷延要因である」ことも肝に銘じなければなりません。検査機器は役立ちますが、まず、観察力と推理力を発揮することです。

一方、キズの治癒に関係する要素はたくさんあります。例えば栄養法、ドレッシング法、外用薬療法、物理療法、ベッドや車椅子やマットレスなどの福祉用具、さらにはポジショングや移動・移乗の方法、リラクゼーションの方法など、どれもないがしろにはできません。突拍子もない話に聞こえるかもしれませんが、(がん)緩和ケア療法も無関係ではありません。床ずれの裾野は広く、それを切り口に、在宅医療のあらゆることに関心領域が広がります。

近年は種々の道具や材料や環境は整ってきました。ただ、「もの」は整ったとしても、それを実際に動かす「ひと」に問題があれば、うまくいきません。家族(介護人)も含め、在宅に関わる方々の、それぞれの地域における職種を問わない質の高い連携と協働(多職種協働)が叫ばれる理由がそこにあります。介護保険法が施行されて15年、地域包括ケアシステムの構築に向けての関係各位の努力のおかげで、状況は良くなってはいます。しかし、まだまだ課題はあります。より良い在宅褥瘡創傷ケアのために活発な議論が交わされることを期待します。

2016年度 全国会長 中村 義徳

【日時】: 2016年10月23日(日) 10:00~17:05 (受付 9:30開始)

【定員】: 150名

【対象者】: 医師、歯科医師、看護師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、薬剤師、
介護支援専門員、介護福祉士、ヘルパー、福祉用具専門相談員、一般、学生、他

【参加費】: 会員 1,000円 / 非会員 3,000円 / 学生 1,000円

【会場】: 浜松医科大学医学部附属病院 臨床講義棟 大講義室
(〒431-3125 静岡県浜松市東区半田山1-20-1)

※日本褥瘡学会認定講習会のセミナーです(現在申請中)。

中部・北陸地区 床ずれセミナープログラム(予定)

- 9:30-10:00 受付開始 (企業展示開始)
- 10:00-10:05 開会の辞 地区会長 浜松医科大学 形成外科科長 深水秀一
- 10:05-10:55 基調講演 『地域医療構想から見える静岡県の「在宅医療等」の方向性』
演者:浜松医科大学 医療福祉支援センター長 小林利彦
- 11:10-12:00 教育講演1 『発生のメカニズムから予防対策まで、
床ずれケアナビ 電子版を活用しよう』
演者:統合医療 希望クリニック 院長 堀田 由浩
- 12:15-13:05 企業プレゼンテーション(ランチョンセミナー)
共催企業によるプレゼンテーション
- 13:20-14:30 全国会長講演 『在宅でも施設でも病院でも、やる・できる・つながる
褥瘡創傷ケア』
演者:天理よろづ相談所病院 在宅世話どりセンター 中村 義徳
- 14:45-15:35 教育講演2 『在宅で行う局所療法と栄養療法』
演者:高岡駅南クリニック 院長 塚田 邦夫
- 16:00-17:00 症例検討
座長:坂の上ファミリークリニック院長 小野宏志
浜松医科大学 形成外科科長 深水秀一
- 17:00-17:05 閉会の辞 地区会長 浜松医科大学 形成外科科長 深水秀一

※教育講演用 参考テキスト「**新床ずれケアナビ**」をお持ちの方はご持参ください。※軽食付です。

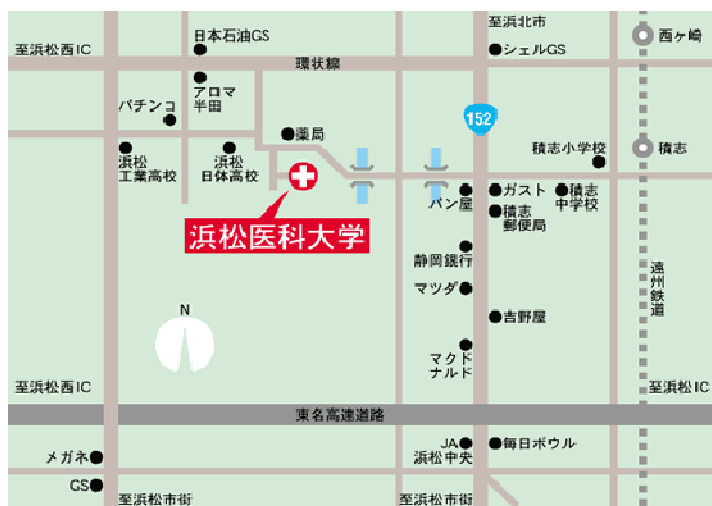
【事務局】日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会 事務局

〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル9階

株式会社 春恒社 学会事務部内 TEL:03-5291-6231 FAX:03-5291-2176

※詳細は予告なく変更されることがございますので、適宜協会ホームページでご確認いただくことをお勧めいたします。

※協会ホームページ URL:<http://www.zaitaku-jokusou.info/>



【駐車場】上記 A/B/C/D に駐車下さい

【バスをご利用の方】浜松駅バス乗り場 13 番ポール

・路線番号:50 山の手医大線 もしくは、57 医大じゅんかん

日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会
2016 年度 中部・北陸地区床ずれセミナー申込書

申込先 FAX：03-5648-6640 申込締切日：10月15日（金）

* FAX 番号を必ずご記入ください。申し込み受付後、整理番号を FAX にて返信します。

中部・北陸地区 10月23日（日）	整理番号 *事務局記入欄	
参加費	会員 1,000円 / 非会員 3,000円 / 学生 1,000円 *当日、受付にてお支払ください	
会 員 非 会 員	<input type="checkbox"/> 会 員 ※ (会員番号：HC)・ <input type="checkbox"/> 非 会 員 <input type="checkbox"/> 当日に会員になる (いずれかをレチェックして下さい)	
コアスタッフ	<input type="checkbox"/> 登録している <input type="checkbox"/> 登録していない (いずれかをレチェックして下さい)	
氏 名	しめい ふりがな	
勤務先名	勤務先部署名	
勤務先住所	〒	
勤務先 TEL	勤務先 FAX	
自宅住所	〒	
自宅 TEL	自宅 FAX	
E-mail	<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自 宅 (いずれかをレチェックして下記に記載して下さい)	
発 送 先	<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自 宅 (いずれかをレチェックして下さい)	
職種分類 (いずれかを レチェックして 下さい)	<input type="checkbox"/> 医 師 <input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> WOC <input type="checkbox"/> ケアマネジャー <input type="checkbox"/> 薬剤師 <input type="checkbox"/> PT <input type="checkbox"/> OT <input type="checkbox"/> ST <input type="checkbox"/> 栄養士 <input type="checkbox"/> 管理栄養士 <input type="checkbox"/> 介護福祉士 <input type="checkbox"/> 訪問介護員（ヘルパー） <input type="checkbox"/> 福祉用具相談員 <input type="checkbox"/> その他（具体的に)	

※ 今回提供頂きますデータは個人情報でございます。
日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会の活動及び役員会が必用と認めた事業以外に使用致しません。